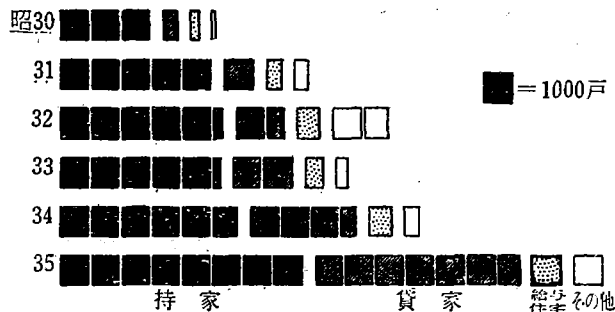


41. 住宅着工状況

戦災後住宅の再建はめざましいものがあったが、人口の増加等で本県もまだ相当数の住宅が不足している現況である。昭和31～35年の5ヵ年間平均年約1万6百戸の住宅が建築されているが住宅不足はまだ当分続くものと思われる。なお昭和35年には30年の約4倍の1万7千戸が建築された。

また専用住宅の1戸当り床面積は42.9(約13坪)平方メートル持家、貸家別の床面積では持家63.9(約19坪)平方メートル貸家で27.6(約8坪)平方メートルで貸家は持家の半数以下の面積である。

利用関係別の住宅着工状況



年	総 額		専 用 住 宅		併 用 住 宅	
	戸 数	床 面 積	戸 数	床 面 積	戸 数	床 面 積
昭和 27 年	3 091	159 399	2 233	103 128	849	55 484
28	3 342	179 677	2 494	117 934	844	61 540
29	3 896	197 340	3 252	150 678	644	46 661
30	4 195	221 651	3 357	159 402	829	61 918
31	7 059	368 197	5 577	258 600	1 468	108 368
32	9 571	475 706	8 217	372 685	1 353	102 929
33	8 371	410 017	7 188	311 817	1 183	98 200
34	10 775	516 559	9 561	412 566	1 214	103 993
35	17 104	808 615	15 499	664 628	1 605	143 987
	その他の住宅		利 用 関 係 別 戸 数			
	戸 数	床 面 積	持 家	貸 家	給与住宅	そ の 他
昭和 27 年	9	787	2 552	414	91	34
28	4	202	2 974	180	94	94
29	—	—	2 981	610	215	90
30	9	331	3 184	512	381	118
31	14	1 229	5 038	1 091	442	488
32	1	93	5 376	1 564	767	1 864
33	—	—	5 337	1 985	628	421
34	—	—	5 946	3 469	843	517
35	—	—	8 100	6 856	1 161	987